入院診療計画書

治療方針：内視鏡的逆行性膵胆管造影検査（ERCP） Ver.1

ID:

氏名：　　様

病棟（病室）：　　（　　）

年　　月　　日

推定される入院期間：5泊6日

【治療計画】

日付	月　日	月　日		月　日	月　日	月　日	月　日
経過	入院日(検査前日)	検査当日（検査前）	検査当日（検査後）	検査後1日目	検査後2日目	検査後3日目	検査後4日目
達成目標	検査の必要性が理解できる	不安なく検査をうけることができる	処置後の合併症がおきない	食事開始後、症状再燃なく過ごすことが出来る	→	→	退院後の注意点を理解できる
安静度 リハビリテーション計画 退院	・リハビリテーションの介入が必要な方は、リハビリテーション実施計画書を作成します ・病棟内を自由に歩くことができます		・検査後2時間はベッド上で安静にしていただきます 安静解除後、看護師と一緒に歩きふらつきがなければ1人で歩きます				・症状を確認し、問題がなければ退院ができます。
栄養管理計画	・栄養状態の確認を行い、必要に応じて栄養管理計画を立案します ・夕食まで食事が摂れます ・水分（水、茶）は摂れます		・検査・処置後、2時間後より水分可能になります。最初水を飲むとき看護師と飲み、むせ込みがなければ1人で飲んで大丈夫です。	・昼食から易消化食が摂れます			
薬剤管理計画		・点滴があります → ・医師から指示された薬のみ、少量の水で内服することができます			→		
検査内容 及び日程				・採血があります 			
手術処置 内容及び日程			・血圧、脈拍、酸素飽和濃度を測定する機器をつけます ・必要時、酸素投与を行います				
清潔	・シャワーをしていただきます			・シャワーができます 	→	→	→
排泄	・歩いてトイレに行くことができます →	→	・安静解除後トイレに行くことができます	→	→	→	→
患者様及び ご家族への説明	・看護師が入院後の生活、入院・検査に必要な物品の説明をします		・医師から検査・処置結果についての説明があります				・医師が退院について説明します ・薬剤師が退院後の薬の内容と管理について説明します ・看護師が退院後について説明します

病名

症状

特別な栄養管理の必要性
有 ・ 無

その他の計画

在宅復帰支援計画 ＊

在宅復帰支援担当者名

総合的な機能評価◇

主治医以外の担当者名	看護師：	薬剤師：	理学療法士：	管理栄養士：

看護計画		主治医	

注1）病名及び治療内容等は、現時点で考えられるものであり、検査・治療を進めていくにしたがって変わり得るものである。
注2）入院期間、表記の日時については現時点の予定である。
注3）＊印は、地域包括ケア病棟入院料（入院医療管理料）を算定する患者にあっては必ず記入すること。
注4）◇印は、総合的な機能評価を行った患者について、評価結果を記載すること。
注5）特別な栄養管理の必要性については、電子カルテ等、様式の変更が直ちにできない場合、その他欄に記載し

板橋中央総合病院
2026年1月5日作成